

安来市立安来幼稚園

(1) 教育目標

～ たくましく 心豊かに伸びる幼児の育成 ～

具体目標

- ・ 明るく伸び伸びと行動し思いを素直に表現する子ども
- ・ 体を動かす楽しさを感じる子ども
- ・ 約束を守って生活し楽しんで遊ぶ子ども
- ・ お互いの思いや考えを認め合い関わりあい協力し合う子ども
- ・ 友だちや先生の話聞き自分で考え行動できる子ども

(2) 園経営の重点

- ・ 一人一人の思いや考えを大切にし育ちを促す
- ・ 健康・安全に留意し身体活動を楽しませる
- ・ 基本的人権を尊重しいじめや差別を見逃さない
- ・ 友だちといる楽しさを感じさせる
- ・ 進んで関わったり意欲的に取り組めたりできるよう支える
- ・ 基本的生活習慣の自立をすすめる
- ・ 職員間の連携を密にし援助・指導・教育活動での協働体制をとる
- ・ 家庭地域との連絡連携をする
- ・ 幼稚園教育を充実させるための研修研究を行う

(3) 研究計画

研究主題

「互いの存在を認め合う心を育てる保育者のあり方」
～ 多角的な視点で子ども理解をする幼稚園をめざして～

(4) 特色ある教育

- ・ 様々な世代間交流を通じた“関わる力”の育成
- ・ 地域を知る活動や伝統文化にふれる“ふるさと教育”
- ・ 食育、社会体験、園外活動などの“体験活動”

(5) 学級編成

| 学 年 | | 3 歳 児 | 4 歳 児 | 5 歳 児 | 計 |
|-------|---|-------|-------|-------|-----|
| 組 名 | | ば ら | ゆ り | う め | |
| 学 級 数 | | 1 | | 1 | 2 |
| 児 童 数 | 男 | 5 | 6 | 6 | 1 7 |
| | 女 | 3 | 3 | 5 | 1 1 |
| | 計 | 8 | 9 | 1 1 | 2 8 |

安来市立島田こども園

1 園の教育目標

心豊かにたくましく 未来を拓く子どもの育成

◎ めざす子ども像

～島田大好き 友だち大好き ひとみ輝く島田の子ども～

- 明るく元気な子ども（安定した心 健やかな体 基本的生活習慣）
- 自分から遊びを見つけ、夢中になって遊び込む子ども（感性 意欲 思考）
- 友だちとなかよくしようとする子ども（人とのかかわり 規範意識）

◎ 運営方針

人権尊重の精神に立ったこども園経営を基盤として、愛情と信頼、連帯と創意を發揮した教育を展開し「生きる力」の基礎となる心情・意欲・態度を培い、教育目標の実現を図る。

◎ めざすこども園像

- 人権が尊重されるこども園
- 健康で安全に過ごせるこども園
- 明るく活力のあるこども園
- 楽しい遊びがたくさん見つかるこども園
- 家庭、地域と共に子どもを育むこども園

◎ めざす教職員像

- 一人の人として、自分のあり方を見つめる教職員
- 子どもを信じ、子どもと真摯に向かい合う教職員
- 意欲的・創造的な教育実践を求める教職員
- 「連携」「協働」による教育を大切にする教職員

2 園経営の重点

(1) 互いの人権を尊重し合うこども園づくりと豊かな心の育成

- 一人一人の子ども理解、信頼関係に基づく、子どもが安心して個性を發揮でき、友だちと一緒にのくらしを楽しめる学級経営
- 自己肯定感、自己有用感を高め、子どもの意欲が育つような教育の充実
- 絵本や音楽、自然とのふれあいなど豊かな感性を育む活動の充実

(2) 自ら健康で安全な生活を作り出す力を大切にしたすこやかな体の育成

- 家庭と連携し発達の見通しをもった健康教育の推進と基本的生活習慣の確立
- 広い園庭を生かしたダイナミックに体を動かしたくなる遊びの展開
- 給食、栽培・収穫・調理、体を使った遊びなど、くらし全体を俯瞰した食育

(3) 「めざす子ども像」が育つための、よりよい教育実践の探求

- 教員が連携し、共通理解のもとでの教育活動の実践
- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を意識した発達の見通しをもった教育実践の工夫
- 学人同教の発表を見据えた園内研究、研究保育の充実と研究会・研修会への積極的な参加

(4) 保護者や地域に開かれたこども園経営の推進

- 子育ての楽しさの共有や保護者の思いの理解を大切にした、家庭との連携の充実
- 地域の人・もの・ことを生かす自然体験や社会体験を取り入れた、地域の人に親しみ、地域のよさを感じることでできる活動の充実
- 地域の子育て家庭の保護者に対する支援のあり方の工夫

3 研究計画

(1) 研究主題

人とのつながりの中で 自分らしさを発揮しながら共に育ち合う 子どもをめざして

(2) 研究の目標

子どもたちが人とのつながりの中で、自分らしさを発揮し合いながら共に育ち合うための援助と環境構成の在り方を、実践を通して探る。

(3) 研究の視点

- 一人一人が安心感や充実感を味わい、自分らしさを発揮できるような援助の工夫
- いろいろな友だちとのかかわりが、生まれ広がる環境構成の工夫
- 友だちと一緒にいる喜びを感じられるような環境構成及び援助の工夫
- 職員間の連携

4 特色ある教育

(1) 広い自然豊かな園庭を生かした、しなやかな心と体を育む保育

- 砂や土、泥、水、草花、虫など、身近な「もの」や友だち、先生などの「人」とかかわりながら一人一人が自分で遊びを見つけ、遊び込む中で、遊びを工夫し、発展させていく「見つけた遊び」
- 体を動かす気持ちよさや達成感を感じることができるよう支えながら行う、マラソン、体操、リズム遊びなどを行う毎朝の「おはようタイム」

(2) 地域支援や地域の特性を生かしたふるさと教育

- 島田交流センターと連携して、年間を通して計画的に行う、地域の方に教えていただいたり一緒に遊んだりする地域支援活動（さつまいも栽培、陶芸教室等）
- 筍掘り、イチゴ狩りなど、地域に出かけて地域のよさを感じる活動

(3) 豊かな情操を育むための活動

- 幼児の主体性を大切に「劇あそび」や「オペレッタ」の発表
- 子どもの生活や季節を大切に童歌や童謡、体全体で楽しむ音楽あそびを取り入れた活動
- 家庭と連携し、継続して行う絵本の読み聞かせやお話語りを聞く活動

(4) 小学生や他園との交流活動

- 小学校の運動会、学習発表会などへの参加、1年生や4年生との交流活動など、小学生への憧れや親しみ、小学校への期待を持つようになる活動
- 他園との交流活動（合同での観劇会や園外活動等）

5 学級編成

| 学 年 | | 3 歳児 | 4 歳児 | 5 歳児 | 計 |
|-----|---|------|------|------|----|
| 学級数 | | 1 | | | 2 |
| 園児数 | 男 | 1 | 0 | 4 | 5 |
| | 女 | 2 | 4 | 2 | 8 |
| | 計 | 3 | 4 | 6 | 13 |

安来市立認定こども園荒島

1 教育・保育目標

～子どもたちの健やかな育ちをめざして～

- ・心身ともに健やかな子ども
- ・自分の思いを表現できる子ども
- ・意欲的に遊びを楽しむ子ども
- ・思いやりのある子ども
- ・食を楽しみ、食に関心をもつ子ども

< 人権・同和教育目標 >

- ・自分の思いや考えを表現できる力を育むと共に、相手の思いや考えも受け入れ大切にできる力を育てる。
- ・基本的な生活習慣や集団生活に必要な態度を身につける。
- ・お互いを大切にする、人権に対する芽生えを育てる。
- ・研修会、保育参観を通して保護者自身も人権意識が向上するよう啓発に努める。

2 (1) 経営の基盤

本園は保護者のニーズに合わせ 1～3 号認定の機能を併せ持ち、1 歳から就学前の子どもの教育・保育を一体的におこなう場であり地域における[子育て支援]をおこなう機能をもつ事を踏まえ、子ども一人ひとりの思いをしっかりと受け止めた養護のもと、適切な教育・保育を行ない子どもの主体性、協調性を育む。さらにその姿を健やかに、そして、のびやかにその成長を支えていくことに努める。

また、すべての子育て家庭を対象に子育てに関する相談の場、親子の集いの場を提供することに努める。

(2) 園経営の重点

- ① 保護者のニーズにより短時間及び標準時間の教育・保育を実施し、就学前の教育及び保育を一体的に行う場としての役割をはたす園づくりを進める。
- ② 健康で安全な生活をおくることができるように生活習慣や態度を一人一人の実態に合わせた、指導に努める。
- ③ 幼児の興味・関心に応じた環境の構成に努める。
- ④ 小学校との連携を行い幼児教育の理解およびスムーズな移行に努める。
- ⑤ 年齢に応じた子どもの発達を理解し、職員間の連携・協働を図り職員全体で教育保育を行う。
- ⑥ 地域の環境（人・物）を生かし教育・保育内容の創意・工夫に努める。
- ⑦ 保護者や地域に、園の教育・保育目標や活動内容を発信する。
- ⑧ 子育て家庭を対象に気軽に相談できる場を設け信頼関係を築き、また親子の集いの場を提供する。
- ⑨ 専門職としての資質向上に努める。

3 研究計画

研究主題

「子ども理解を深め主体的に生きる力を育む」
～異年齢保育を通じた職員の協働性の本質を見つめて～

研究の目標

様々な立場の職員が養護と教育が一体となった保育を目指し支え合い、学び合い、気持ちをひとつに教育・保育に取り組み、子どもが主体的に生きる力を支える。

研究の視点

- エピソード記述を通して、個々の子ども理解を深める。
 - ・目にはみえない子どもの心の在りようを理解し捉える。
- 月2回行う“なかよし交流”を通して、心を通い合わせる教育・保育のあり様を見つめる。
 - ・子どもの個体発達と関係発達に視点を当てた職員間での連携を行う。

4 特色ある教育

① ふるさと教育の推進

- ・長寿会、童話のサークルの方々をはじめ地域の「人・物・自然」に触れ合いながら、ふるさとやそこで暮らす人々に親しみを持つ心を育む。
- ・親子銭太鼓作り、安来節踊り、荒島踊りなどの郷土の文化芸能を体験し地域の方々と共に楽しむ。

② 食を大切にす

- ・給食を通して「食べる」ことの大切さを知らせ、子ども達にとって現在、将来にわたって生きてくる活動の推進。
- ・子ども達と栽培した野菜の収穫や近隣の山、畑で採らせて頂いた自然物（梅の実、わらび・たけのこなど）を自分たちの手で調理し食する喜びを味わう活動の推進。

5 学級編成

| 年齢 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 男 | 7 | 9 | 6 | 5 | 6 | 33 |
| 女 | 6 | 4 | 4 | 7 | 7 | 28 |
| 児童数 合計 | 13 | 13 | 10 | 12 | 13 | 61 |

安来市立十神小学校

1 学校教育目標

「学びあい 磨きあい 鍛えあいながらたくましく実践する子どもの育成」

《めざす子ども像》

- ① もに話し合い、考え、学びを深める子（自ら学ぶ子）
- ② かわりの中で、温かい人間関係を築ける子（思いやりのある子）
- ③ みんなと進んで体を動かし、健康・安全に生活する子（元気な子）

2 学校経営の重点

(1) 学習指導の充実

- ① 一人一人の個性を把握し、ユニバーサルデザインの視点、個への適切な支援を大切にした授業改善を図り、みんながわかる授業づくりを進める。
- ② 指導方法、指導内容を工夫し、児童の実態から出発する問題解決的な学習、主体的・対話的・深い学びを追求する。
- ③ 学校図書館を活用した授業実践、読書習慣の確立のための取組を計画的・継続的に進める。
- ④ TT指導や少人数学習などの指導体制を工夫し、個に応じた指導を推進する中で、児童自らが主体的に学習に取り組む姿勢を育て、学習習慣の定着を目指す。

(2) 特別支援教育の充実

- ① 児童一人一人の個性を見とり、ニーズに応じたきめ細やかな支援につなげる。
- ② 関係機関と連携し、地域・家庭の理解を得ながら、児童一人一人の自己実現を図る。

(3) 道徳教育の充実

- ① 発達段階をふまえ、「考え、議論する」授業づくりに努める。道徳ノートを活用などにより、一人一人を適切に評価し、授業づくりに生かす。
- ② 児童の実態把握をもとに、道徳の内容項目について重点化して取り組む。
- ③ 全教育活動を通して、道徳性が培われるように配慮する。

(4) 人権・同和教育の充実

- ① 生命と人権を大切にした風土づくりと、児童の進路保障に向けた取組に努める。
- ② 人権課題、同和問題の解消に向けて、研修・啓発の推進に努める。

(5) 生徒指導の充実

- ① 気持ちのよいあいさつができるように継続的に指導する。
- ② 規範意識の向上を目指す。
- ③ 温かい人間関係づくりを進め、絆づくり・居場所づくりに努める。

(6) 学力向上の取組

- TT指導や少人数学習による算数の授業。
- 見通し～学び合い～まとめ～ふりかえりを大切にした十神小授業スタイルの周知。
- 十神小スタンダード（通常版・特別支援版）の着実な実践による授業改善。
- ◇ 各学年に応じたノート指導と、「自主学習の手引き」を活用した家庭学習。
- 授業についての基本的な共通理解事項の確認と十神っ子学習ルールの指導。

(7) 健康・安全教育の推進

- ① 進んで自らの健康づくりに取り組み、日々安全な生活を送る児童の育成に努める。
- ② 家庭・十神見守り隊・関係機関との連携を図り、通学路及び地域での児童の安全確保に努める。

(8) 教職員の研修と資質の向上

- ① 主幹教諭配置を生かし、教職員組織の連携と活性化を図る。
- ② 若年教職員を育てる温かさや厳しさのある教職員集団づくりを進める。
- ③ 互いに高め合い、支え合う協同・協力体制づくりを進め、チーム力を高める。

3 研究計画

(1) 研究主題

「確かで豊かな言葉でつながり合う子どもの育成」(3年次)
～つけたい力を明確にした説明的な文章の指導を通して～

(2) 研究の目標

確かで豊かな言葉でつながり合う子どもの育成をめざして、「読むこと」の説明的な文章の指導を通して、つけたい言葉の力を明確にした授業の在り方を授業研究を通して明らかにする。

(3) 研究の視点・内容

- ・つけたい言葉の力を明確にした単元の構想
- ・主体的に動き出したくなる授業の展開
- ・言語環境の充実

4 特色ある教育

(1) 地域の特色

校区は市役所、消防署、市立図書館、安来駅、多くの商業施設などがある市の中心地である。また、神社、寺院が多く、旧市街地の旧家や商家の立ち並ぶ地域も近くにあり、田園地帯が広がるとともに、十神山や中海、伯太川などもあり、歴史と文化、豊かな自然環境に恵まれている。

(2) ふるさと教育の特色

郷土の歴史、自然と文化・産業を生かし、自ら課題をもって取り組む「まち探検」および「郷土芸能体験活動」「ヤスキハガネ」を取り入れた生活科、総合的な学習の時間を進めることで地域に根ざしたふるさと教育を行っている。

(3) 豊富な人材の活用

教育熱心な保護者や毎週木曜日の全学級への読み聞かせボランティアなど地域の学校ボランティアが非常に多く、地域と連携した工夫した活動が展開できる。

5 学級編制

※児童数()は特別支援学級で外数

| 学年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 特支 | 計 | |
|-----|----|-------|-------|-------|----|----|-------|----|-----|
| 学級数 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 14 | |
| 児童数 | 男 | 35(1) | 30(2) | 29(1) | 24 | 25 | 30(2) | 6 | 179 |
| | 女 | 24(1) | 23 | 30 | 32 | 31 | 26(1) | 2 | 168 |
| | 計 | 59(2) | 53(2) | 59(1) | 56 | 56 | 56(3) | 8 | 347 |

安来市立社日小学校

1 学校教育目標

「豊かな心をもち 心身ともに健やかで、たくましく生きる子どもの育成」

2 学校経営の重点

(1) めざす学校像

「学校・家庭・地域でともにつくる 明るく 楽しい学校！」

(2) めざす子ども像

(し) しっかり考える子 <知>

(や) やさしい心をもった子 <徳>

(に) にこにこ元気な子 <体>

(ち) チャレンジする子 <やってみよう！>

(3) めざす教職員像

(し) しっかりと大切にしたいことを表現できる教職員

(や) やさしさとやる気、笑顔にみちた教職員

(に) 日常の積み上げを大切にする教職員

(ち) 違いを認め合い、互いに聴き合い、高め合う教職員

3 研究計画

(1) 研究主題

「確かで豊かな言葉でつながり合う子どもの育成」

～主体的に学び、ともに高め合う文学的な文章の学習を通して～

(2) 研究内容

①授業づくり

- ・主体的に学習に取り組むための工夫
- ・ともに高め合うための工夫
- ・国語科の授業を充実させるための工夫

②基盤づくり

- ・言葉を育てる
- ・「あたたかい」人間関係づくりを進める
- ・学力の基礎を支える取り組みを行う

4 特色ある教育

(1) 国語科の授業のあり方を追究する

今年度「島根県国語教育研究大会安来大会」の会場校として授業公開をする。外部講師に指導をしていただき、国語科を中心に実践を重ねるとともに、校内研修や研究授業等を計画的に行い、互いに学び合い高め合う教職員集団をめざす。

(2) 芝生化された校庭を活用する

芝生化された校庭は、さわやかであることやけがの心配が少ないことなどから、子どもたちが運動に親しみながら、心身を豊かに育てていくことができる。それらを有効に活用して教科体育の充実と児童の体力向上を図る。

(3) 韓国守山初等学校との交流を深める

平成17年度に大韓民国慶尚南道守山初等学校との姉妹校縁組協定を結んで以来、相互児童交流を行っている。コロナ禍で従来のような相互訪問などの人的交流はできないが、歴史や文化等を学ぶ活動などを通して、それぞれの違いを認め合い友好的関係を築こうとする意欲・態度の育成に努める。また、スカイプ等を活用して学校間の交流を継続していく。

5 学級編制

| 学 年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 特支 | 計 | |
|-------------|----|-------|-------|----|-------|-------|-------|---|-----|
| 学級数 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 9 | |
| 児 童 数 | 男 | 15 | 17(1) | 18 | 14(1) | 11(1) | 16 | 3 | 94 |
| | 女 | 9(1) | 17 | 11 | 12 | 14(1) | 16(1) | 3 | 82 |
| | 計 | 24(1) | 34(1) | 29 | 26(1) | 25(2) | 32(1) | 6 | 176 |

※児童数（ ）は特別支援学級で外数

安来市立島田小学校

1 学校の教育目標

- ・「しなやかな感性をもち、真剣に学び、優しくたくましい島田っ子の育成」
 - ～ めざす児童像 「し・ま・た の子」～
 - ① しんけんに学習する子(知)
 - ② まわりのともだちにやさしくする子(徳)
 - ③ たくましくがんばる子(体)

2 学校経営の重点

(1) 学校経営の基本方針 ～人を大切にする学校～

- 1 子どもにとって、学ぶ楽しさのある場に(子ども一人一人を大切にする学校)
- 2 保護者にとって、子どもの成長が見える場に(保護者と共に歩む学校)
- 3 地域にとって、世代をこえたふれあいの場に(地域と共に歩む学校)
- 4 職員にとって、やりがいのある学校に(職員を大切にする学校)

(2) 重点施策 キーワード「自分の思い(考え)をもつ子 思いを伝えられる子」

- 1 確かな学力を育む授業実践と研究推進
 - ・主体的に学ぼうとする力を伸ばし、自分で課題を解決しようとする態度を育てる。
 - ・子どもたちが課題を見つけ、解決を目指す授業展開を工夫する。
- 2 豊かな心を育む教育の推進
 - ・支持的な学級集団づくりを学級経営の基盤に置く。
 - ・積極的な生徒指導を進め、子どもたちの自己肯定感を高める。
- 3 たくましいからだを育てる教育活動の推進
 - ・芝生の校庭を活用し、めあてをもちながら継続した体力づくりを進める。
 - ・弁当の日や食農教育を進め、子どもたちの食に対する関心を高める。
- 4 かかわりを大切にする教育・自立を支える生徒指導
 - ・接続カリキュラムを機能させ、保幼小中の連携を深める。
 - ・特別支援学級と通常学級の交流を推進し「共によりよく生きる」態度の育成を図る。
- 5 地域に開かれ、地域に根ざした学校づくり
 - ・地域支援者との調整を行い、ねらいを明確にしたふるさと学習を推進する。
 - ・安全指導・安全教育の推進と地域連携による子どもたちの安全を守る対策を確立する。
- 6 保護者と連携・協力して子どもたちを支える学校づくり
 - ・授業公開日、学校行事等を保護者の方との交流の場とする。
 - ・学校便り、学級便り、HP等により、子どもの様子を発信し受信する。
- 7 職員が協働し、自己研鑽に努める学校づくり
 - ・授業力の向上を図り、児童理解を深める。
 - ・校内研究や授業研究による自己研鑽を図る。

3 本年度の研究計画

(1) 研究主題 「確かで豊かな言葉でつながり合う子どもの育成」

～自分の思いや考えを言葉で表現し ともに学び合う授業づくりを通して～

(2) 研究内容

- ・「言葉をつないで」主体的に表現できるようにする
- ・「言葉をつないで」仲間と学び合い、自分の考えを深めたり広げたりする

4 特色ある教育

(1) 地域・学校の特色

- ・ 校区全世帯数840戸あまりの内、4割強が農業従事者であり、米作を中心として特産品の梨・たけのこの栽培や生産に取り組んでいる。
- ・ 通学距離も長く、国道9号線等の交通量も多く、保護者の要望でバス通学者が多くなっている。現在約8割の児童がバス通学となっている。

(2) 特色ある教育

- ・ 地域の学校教育に対する理解協力は厚く、島田交流センターを中心として、総合的な学習の時間や家庭科、クラブ活動等へ多数の地域講師の支援がある。

① 地域支援員さんとの連携による教育

(ア) ふるさと教育

- ・ 地域の人々と直接かかわることを通して、ふるさとの生活は自然環境と結びついて営まれていること、地域の人々の工夫や努力によって守られながら変化していることを理解し、ふるさとを大切に作る心を育てる。

(イ) 教科の学習

- ・ 生活科や社会科、家庭科等で、地域の教育資源(ひと・もの・こと)を活かす活動。

(ウ) その他

- ・ 総合的な学習や道徳、クラブ活動にゲストティーチャーや講師として参加してもらう。

② 英語・外国語活動

- ・ 安来市の実施計画をふまえて単元指導計画を工夫し、必然性のある活動で児童の意欲を高める。

③ 芝生の上での体力づくり

- ・ 年間を通じ、柔らかい芝生の上での体育や遊びを奨励し、多様な動きをすることで身体能力を高める。

5 学級編制 ()は特別支援学級児童外数

| 学級 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 知的 | 自・情 | 肢体 | 計 | |
|-----|----|-----------|-----------|----|----------|----|-----------|-----|----|---|-----|
| 学級数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 9 | |
| 児童数 | 男 | 13 (1) | 12 (1) | 14 | 7 (1) | 9 | 15 | 1 | 1 | 1 | 73 |
| | 女 | 17 | 13 | 13 | 12 | 11 | 13 (2) | 1 | 0 | 1 | 81 |
| | 計 | 30 | 25 | 27 | 19 | 20 | 28 | 2 | 1 | 2 | 154 |

安来市立宇賀荘小学校

1 学校教育目標

『地域とともに 仲間とともに 未来を創る 心豊かな人づくり』

＜めざす子どもの姿＞

- 伝え合う・・・進んで学び 伝え合う児童
- 認め合う・・・思いやりがあり 認め合う児童
- 挑戦する・・・健やかな体づくりとねばり強く挑戦する児童

＜めざす学校の姿＞ ～歌「だいすき うかしょう」のような学校～

- 明るいあいさつとぬくもりのある言葉が響きあう笑顔あふれる学校
- 健康で、安全・安心に過ごせる学校
- 保護者や地域と連携・協力して、教育効果を高めあう学校

＜めざす教職員の姿＞

- 自ら学び続け、児童の可能性を引き出す教職員
- 自らの人権感覚を磨き、豊かな人間性あふれる教職員
- 「チーム宇賀荘」の一員として協働する教職員

2 学校経営の重点

(1) 基礎基本を身につけ、主体的に学習に励み、仲間と考えを伝え合い、表現する力を育てる教育を進める。

- ①基礎・基本の徹底と複式学級や少人数学級のよさを生かした教育実践
- ②「主体的・対話的で深い学び」の追究を通じた「思考力・判断力・表現力等」の育成
- ③家庭との連携を密にした家庭学習の質の充実
- ④自ら学ぶ意欲と豊かな心を育てる学校図書館活用教育の充実

(2) 子どもたちの社会性を広げ、人間力を高める教育を進める。

- ①一人一人を大切にした学級経営と集団づくり，なかよしファミリー活動の充実による社会性の育成（リーダー性・協力性等）
- ②全教育活動を通しての道徳教育と、「特別の教科 道徳」の充実
- ③積極的な生徒指導による児童の自己肯定感の醸成

(3) 将来にわたって健やかに生きる心と体を育てる教育を進める。

- ①体力向上推進計画に基づき、健やかな体づくり
- ②基本的な生活習慣や、望ましいメディアコントロール力の育成
- ③物事に向き合ったり、自分で決めたことに失敗を恐れず挑戦したりする場を設定し、しなやかな心の育成

(4) 家庭・地域との連携を深め、地域とともに歩み、ふるさとに根ざした教育を進め

る。

- ①学校・家庭・地域の三位一体で子どもを守り育てる「ふるさと教育」の推進
- ②信頼される学校づくり

3 研究計画

(1) 研究主題

「互いを認め合い、なかまと共によりよく生きようとする子どもの育成」
～学校の教育活動と関連付けた「特別の教科 道徳」の授業づくりを通して～

(2) 研究の目標

教科や学校行事と関連付けた「特別の教科 道徳」の授業づくりを通して、多面的・多角的に物事を考え判断する力や、よりよく生きようとする意欲や態度を育て伸ばすための効果的な手立てや工夫について明らかにする。

4 特色ある教育

(1) ふるさと学習の取り組み

- ・地域の伝統芸能を学ぶ場（銭太鼓，安来節踊りなど）の設定
- ・体験学習の場（野菜作り，巣箱作り，地域行事への参加など）の設定

(2) 人権教育や特別支援教育を基底に据え，自他を尊重し，お互いの良さを認め合う教育の展開

- ・全校縦割り班活動（なかよしファミリー活動）を年間通して実施し，全校の児童がお互いの良さを認め合い，尊重し合う教育活動の設定

(3) 小規模校の良さを活かした学習活動の展開

- ・一人一人の学びに応じた学習支援の充実
- ・聴き合い伝え合う場や表現力を高める学習の場の工夫

5 学級編制

| 学年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | にじ いろ | あお ぞら | 合計 | |
|---------|----|----|------|----|------|----|----------|----------|----|----|
| 学級数 | 1 | 1 | 1 | | 1 | | 1 | 1 | 6 | |
| 児童 数 | 男 | 5 | 2(1) | 3 | 5(1) | 3 | 2 | 1 | 1 | 22 |
| | 女 | 3 | 5 | 3 | 4 | 3 | 3 | 0 | 0 | 21 |
| | 計 | 8 | 7(1) | 6 | 9(1) | 6 | 5 | 1 | 1 | 43 |

()は特別支援学級児童外数

安来市立南小学校

1 学校教育目標

豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもの育成

<めざす学校像>

「わくわく」「どきどき」「きらきら」があふれる学校づくり

<めざす子ども像> 合い言葉「**み**んな **な**かよし **み**な元気」

- 進んで考える子
- なかよく生活する子
- 心身ともにたくましい子

2 学校経営の重点

(1) 進んで考える子

答えのない問いに、答えを「創造」できる子を育む

- ①学びの大切さや楽しさを感じられる授業づくり
- ②「個別最適化」された学びの保障
- ③一人一台タブレットとICT機器を活用した授業改善
- ④学び続ける習慣作り
- ⑤図書館活用教育の推進

(2) なかよく生活する子

「多様性の尊重」を基盤とした人権感覚を育成し、互いのよさや違いを素直に認め合える子を育む

- ①気持ちのよいあいさつが響く学校
- ②目と心と耳で「聴く」態度の定着
- ③「温かく居場所のある学級・学校」づくり
- ④人権教育、道徳教育の推進
- ⑤異学年活動の場の充実

(3) 心身ともにたくましい子

健康教育の指導を充実し、たくましい体とすこやかな心をもつ子を育む

- ①望ましい生活習慣の確立
- ②多様な運動の場を設定した体力の向上

(4) 家庭との連携

- ①安心、安全な学校づくり
- ②家庭学習の充実
- ③PTA活動の充実
- ④積極的な情報発信

(5) 地域との連携

- ①ふるさと教育の充実
- ②積極的な情報発信と地域との交流
- ③外部評価の実施、学校評議員会の開催

3 研究計画

<研究主題>

「令和の日本型学校教育」をめざす実践研究 ～個人研究を通して～

<研究内容>

個人で研究課題を設定し、実践する。

○参考にするもの

☆令和4年度安来市立南小学校学校経営計画グランドデザイン

☆中教審第228号答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して

～すべての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、
協働的な学びの実現～

4 特色ある教育

(1) ふるさと教育の取組

ア 安来節踊り・銭太鼓〔文化〕

・安来節保存会の方から全国的に有名な郷土芸能を習い、その技を学習発表会などで発表する。

イ 森林教室〔自然・産業〕・・・環境教育

・記念植樹、環境学習、木工工作、椎茸植菌などの体験を通して、森林に親しむと共に森林の働きや役割を知る。

ウ 大豆づくり〔自然・産業〕

・地元在住の大豆作り名人の方と一緒に、種まきから収穫、豆腐作りを通して、大豆の魅力を新聞などにして発信する。

エ 吉田川の活動〔自然・文化〕・・・環境教育

・吉田川の水質調査や生き物調べ、ほたる祭りへの参加などを通して、ふるさとの自然のすばらしさを知るとともに、環境保全の活動に取り組む。

オ 総合プロデュース南小

・生活科や総合的な学習の時間で育てた野菜を中心に、社会貢献活動や持続可能な取組につなげることができる仕組みを考え、実践する。

(2) 全校縦割り班活動の取組

縦割りグループで、休憩時間に遊んだり、集会活動に参加したりすることを通して、お互いの交流を深め、お互いを認め合い尊重しようとする態度を育てるとともに、子どもたちの主体性や連帯感を育てる。

5 学級編制（学級数：8 児童数：67名）

| 学年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 特支 | 合計 |
|-----|----|------|------|----|----|------|----|----|
| 学級数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 8 |
| 男 | 4 | 3(2) | 9 | 3 | 2 | 5 | 2 | 28 |
| 女 | 5 | 6 | 4(1) | 8 | 7 | 7(1) | 2 | 39 |
| 計 | 9 | 9 | 13 | 11 | 9 | 12 | 4 | 67 |

() は特別支援学級外数

安来市立能義小学校

1 学校教育目標

「伝え合い、響き合い、磨き合い、学びを深める子どもの育成」

〔めざす子ども像〕

のびのび表現する子…主体的な学び、表現する力 自分の力での解決
きづかうやさしい子…思いやり、豊かな心 友達の考えの尊重
つよい体をつくる子…強くしなやかな心と体、自律した生活
こきょうを愛する子…ふるさと能義への愛着と誇り

〔めざす学校像〕

○子どもを中心に、保護者・地域と信頼し合える学校
・安心、安全な学校
・明るく、活気あふれる学校
・美しく、心の落ち着く学校
・発信し、理解し、協力する学校

〔めざす教職員像〕

○教育に誇りを持ち、常に自らを磨き、児童のよさを伸ばす教職員
○組織の一員として、理解と信頼のもとに協働して校務を遂行する教職員
○保護者や地域の人々との連携・協力を大切にする教職員

2 学校経営の重点

(1) 「伝え合う」ことを意識して学習を深める。～学習指導の充実～

○のびのびした表現、開かれた学習集団、「伝え合い」の充実
○児童の実態から出発する探究的学習
○個に応じたきめこまかい指導の工夫
○ふるさと教育、学校図書館活用教育の充実

(2) 「響き合う」心を培い、集団の力を高める。～生徒指導、特別支援教育の充実～

○集団づくり・集団活動の工夫と充実
○集団の中で自己肯定感・有用感を育む指導と評価の工夫
○児童理解のための具体的な手立ての工夫。多様性への理解を促す指導の展開
○子どもの声を生かした「きづかう やさしい子」宣言

(3) 「磨き合う」意識と態度を培い、実践力をつける。～自立心の育成～

○自分を律し、日々の生活の中での力の発揮
○人権教育、道徳教育の推進
○基本的生活習慣、家庭学習、読書の習慣の定着
○自主的活動を取り入れる場の工夫

(4) 健康教育の推進

○自分の体や成長に関心をもった体力作り
○体力、運動能力の向上をめざした活動の設定
○ねらいを明確にした安全指導

(5) 開かれた学校づくり

○地域の教育力の活用(ふるさと教育など)
○学校と地域、保護者の連携

3 研究計画

(1) 研究主題

「自ら考え、ともに学び合い、課題を追究する子どもの育成
～伝え合い、響き合い、磨き合い、学びを深める子どもの育成～」

(2) 研究内容

○社会科、生活科の授業づくりへの取組

- ・視点：社会的事象を自分との関わりでとらえ、問題意識をもつことを重視し、単元全体を見通した「知識と問いの構造図」を作成することにより、子ども自ら主体的に学び、課題を追究しようとする事ができる。

○集団づくりへの取組

- ・学級集団づくり：学習規律（聴くこと・話すこと）の徹底、言語環境の整備 等
- ・全校集団づくり：のきっこ集会（音声言語による表現活動の発表）
のきっこファミリー活動（ファミリー遊び、ファミリー給食等）
- ・詩の音読・暗唱：学級、または、学校全体で声を合わせたり、自分らしいよみ方で表現したりする活動を行う。

○一人ひとりを支える環境づくりへの取組

- ・学力向上をめざしたパワーアップタイム、漢字計算会の実施と家庭学習の充実
- ・ユニバーサルデザインを意識した「みんながわかる」授業づくり
- ・学校図書館活用教育の推進
- ・健康教育の推進 「元気ちょきん」の取組

4 特色ある教育

(1) 「ふるさと教育」の推進

○地域の自然・人・社会等の資源を活用した体験活動や交流活動等を工夫し、主体的に学びに向かう意欲、豊かな心と感性を醸成する。

(2) 音声言語による表現活動の工夫

○学年ごとに「今月の詩」の音読・暗唱に取り組む。

○学期に1回、学級ごとに学習内容を発表し、感想を述べ合う「のきっこ集会」を行う。

(3) 「のきっこファミリー班活動」の展開

○縦割り班での活動を意図的、計画的に行い、高学年のリーダーシップを高めるとともに、子どもたち同士の温かい人間関係を育む。

5 学級編制

| 学 年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 特支 | 計 | |
|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|----|----|----|
| 学級数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 7 | |
| 児 童 数 | 男 | 2 (1) | 8 | 3 (1) | 4 | 4 (1) | 6 | 3 | 30 |
| | 女 | 8 | 6 | 1 | 5 | 5 | 2 | 0 | 27 |
| 計 | 10(1) | 14 | 4(1) | 9 | 9(1) | 8 | 3 | 57 | |

安来市立飯梨小学校

1 学校の教育目標

豊かな心をもち、進んで学び、たくましくやり抜く子どもの育成

- (1) 強い子…夢や目標に向かって、高め合う子
- (2) かしこい子…進んで自らの思いを伝え、学び合う子
- (3) すなおな子…思いやりの心をもち、自他を認め合う子

2 学校経営の重点

- (1) 強い心と体をもち、夢や目標に向かって、高め合う子の育成
 - 夢や目標の設定
 - 競争のある活動
 - 運動の促進
 - メディアストップ
- (2) 進んで自らの思いを伝え、学び合うかしこい子の育成
 - 主体的な学び、集団思考のある授業づくり
 - 基礎基本の充実
 - 個に応じた指導
 - 課題の追究
 - ICT機器のより効果的な活用
- (3) 思いやりの心をもち、自他を認め合うすなおな子の育成
 - 一人の自己肯定感、自己有用感を高める仕掛けづくり
 - 積極的生徒指導
 - 個に応じた適切な支援
 - 仲間との合意形成

3 研究計画

(1) 研究主題

自他ともに大切にできる子ども、主体的に行動し、
たくましく生きる子どもの育成

(2) 内容

- ①子どもたち一人一人の学びの保障
- ②人権が尊重される環境づくり
- ③人権に関する知的理解と人権感覚の育成

(3) 研究教科

社会科、道徳科

4 特色ある教育

(1) 人権・同和教育の推進

- ・学力保障・進路保障の取組を推進する。
- ・主体的に学び、一人一人が大切にされる複式の良さを生かした授業づくりを実践する。
- ・自己肯定感、所属意識を高める仲間づくりの場を工夫する。

- ・保護者や地域と連携した人権学習の充実を図る。
- ・特別養護老人施設、障がい者授産施設の人々との交流活動やボランティア活動を推進する。
- ・人権が尊重される環境づくりを行う。
- ・職員研修の充実を図り、人権感覚を磨く。

(2) ふるさと教育の推進

- ・豊かな自然や文化を生かした体験活動を生かした課題追究学習を通して、ふるさとに誇りと愛着をもち、地域社会の一員としての所属感を育む。
 - * 飯梨の郷ふれあい太鼓（クラブ活動）
 - * 農業体験（社会科、総合的な学習）
 - * 野菜、花づくり（生活科）

(3) 連携教育の推進

- ・安来三中校区連携推進委員会の取組の共通理解を図る。
 - * 学力向上対策
 - * ふるまい3か条
 - * メディアとの関わり方
- ・交流学习の充実を図る。
 - * 安来三中校区健全育成大会

5 学級編制

| 学 年 | | 1・2 | 3・4 | 5・6 | 計 |
|-----|---|-----|-----|-----|----|
| 学級数 | | 1 | 1 | 1 | 6 |
| 児童数 | 男 | 3 | 6 | 7 | 16 |
| | 女 | 5 | 3 | 7 | 15 |
| | 計 | 8 | 9 | 14 | 31 |

安来市立荒島小学校

1 学校教育目標

心も体もたくましく、

ありのままの自分を表現できる子どもの育成

- ・ 学ぶ喜びを知り、あたまを鍛えていける子（知）
- ・ 協働する喜びを知り、こころを磨いていける子（徳）
- ・ 汗を流す喜びを知り、からだづくりができる子（体）

2 学校経営の重点

① バランスのとれた学力育成と個に応じた指導の充実

- ・ 「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力・人間性」という3つの学力の柱のバランスのとれた育成
- ・ 家庭学習の習慣化
- ・ 個別指導の工夫
- ・ 個に応じた特別支援教育の推進と理解教育の充実

② 児童を「学びの主演」とする授業研究の推進

- ・ しまねの学力育成プロジェクトを踏まえた研究推進体制の確立と充実
- ・ 初任研：組織で育てるイメージ
- ・ 探求型授業の確立

③ 積極的な生徒指導及び児童の自尊感情を高める取組の推進

- ・ あたりまえのことがあたりまえにできる
「基本的な生活習慣の定着」を目指す日々の日常指導の徹底
- ・ 積極的な生徒指導の推進
- ・ 問題行動への初期対応と情報の共有化による組織的な指導

④ 全ての教育活動の基底に据えた人権教育の推進

- ・ 一人一人の学びの保障
- ・ 教職員の人権教育観の確立と研修の充実

⑤ 読書活動の推進と学校図書館活用教育の推進

- ・ 様々な読書活動の推進と本に親しむ環境作り
- ・ 学校図書館活用教育の推進による学力育成

⑥ 元気でやり抜くための体力づくりの推進

- ・ 基礎体力の増進
- ・ 健康教育の推進

3 研究計画

(1) 研究主題

主体的に取り組み、自分の思いを進んで表現しようとする子どもの育成

～算数科を通して～

(2) 研究の内容

① 課題設定の工夫

○児童の実態や単元のねらいに応じた課題設定の工夫（解決への意欲喚起，意図が伝わる表現）はどうあるべきか。

○課題提示の方法（タイミング・示し方）はどうあるべきか。

② 課題解決のための支援の工夫

○児童は学習の流れが分かり，見通しをもっているか。

○児童は解決の手がかりとなる事柄が分かっているか。

○児童が主体的に取り組める方法（学習過程・支援グッズの使い方）が準備できているか。

○ペアやグループ，全体での話し合いの視点は明確になっているか。

③ 縦横の一貫性をもった実践

○全体計画，年間指導計画の作成と共通理解を図る。

○学習環境の整備（支援グッズ，教室環境，掲示等）

○授業とつながりのある家庭学習の工夫

4 特色ある教育

(1) 地域支援団体との継続的な連携

郷土の偉人や地域の特産物、歴史的文化遗产などをテーマにした学習を「社会」、「総合的な学習の時間」等で地域関係団体の継続的な支援の下、実施する。

(2) 異学年交流活動の重視

異学年によるペアやグループでの活動を多く取り入れ、関わ合うことの楽しさを体験的に理解させ、望ましい人間関係づくり・集団づくりをめざす。

5 学級編成

| 学年 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 特支 | 計 | |
|-----|---|----|----|-------|-------|----|----|---|-----|
| 学級数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 8 | |
| 児童数 | 男 | 19 | 9 | 12(3) | 17(2) | 12 | 12 | 5 | 86 |
| | 女 | 12 | 11 | 17(1) | 14 | 11 | 17 | 1 | 83 |
| | 計 | 31 | 20 | 29(4) | 31(2) | 23 | 29 | 6 | 169 |

安来市立広瀬小学校

(1) 学校教育目標

「学びあい 磨きあい 鍛えあいながらたくましく生きる子どもの育成」

(2) 学校経営の重点

《めざす子ども像と重点内容》

○よく考え、勉強にはげむ子ども

(自主性・創造性)

- ・基礎基本の習得に努める。
- ・少人数指導など指導方法を工夫し、個に応じたきめ細かな指導の充実を図る。
- ・学習規律や学習習慣、家庭学習習慣の定着を図る。
- ・自分で考え解決する力を育てる。(主体的・対話的・深い学びの追求)
- ・言語活動を取り入れ、表現力を育てる。
- ・学校図書館やICTを活用した教育活動を推進する。
- ・学ぶ意欲と知的好奇心を育てる。

○明るく、豊かな心をもつ子ども

(人間性豊かな情操)

- ・道徳科を要として道徳教育の充実を図る。(考え、議論する道徳)
- ・授業や行事等で感動や充実感のある体験をさせる。
- ・一人一人を大切にしたい学級・学校づくりに努めるとともに、自己肯定感や自尊感情を育てる。
- ・一人一人の子どもの不安や悩みを受け止める教育相談・指導体制の充実を図る。
- ・相手を意識した行動ができ、感謝する心を育てる。
- ・日常生活や授業を通して人権感覚を育み、差別を許さない人権意識を育てる。
- ・特別支援教育、理解教育の推進と縦割り班活動を活用し、仲間意識の育成に努める。

○たくましく、ねばり強い子ども

(健康と強い意志)

- ・自己の健康に関心を持ち、自己管理能力の育成を図る。
- ・安全な暮らしに努め、危険回避能力の育成を図る。(迅速な修繕と環境整備)
- ・年間を通して、計画的に体力・運動能力の向上を図る。
- ・運動に親しみ、自ら体力・運動能力の向上に努める。
- ・規則正しい生活リズム、メディアとの上手なつきあい方の習慣化を図る。
- ・食に関する指導等による食育の充実を図る。
- ・苦手なこと、挑戦したいことに継続的に取り組ませ、強い心と体を育成する。

《めざす教職員像と重点内容》

◎豊かな人間性と愛情にあふれた教職員

○心身ともに健康で信頼される教職員

- ・凡事徹底を基盤に据える。
- ・教職員の健康は学校教育の原動力であることから、常に健康に留意する。
- ・子どもの命を守り、子どもや保護者に誠意をもってあたる。
- ・報連相を早く的確に、いつでもチームで対応する。
- ・率先垂範、明るい挨拶、教職員のコミュニケーションを重視する。

○自ら学び、わかる授業づくりに努める教職員

- ・共に学び、育つことを喜びとする（人間形成の場としての職場）。
- ・職員室を情報交換の場にし、話す人の顔を見て聴き、対話する。
- ・子どもが分かる授業を目指し、日々研鑽に努め、授業力を高める。
（子どもの主体性の尊重、学習内容の追求・向上、見通しを持たせる計画性）

○子どもを認め励ます教職員

- ・児童理解に心がけ、児童との信頼関係を構築する。
- ・アンテナ高く子どもの状態を把握し、声にならない声や訴えを聞き取る。
- ・子どもの声に耳を傾け、温かく、時には厳しく指導する。
- ・常に向上心をもち、子どもの姿から常に自分を振り返る。

(3) 研究計画

①研究主題 「自ら考え ともに学び 高め合う 子どもの育成」
～対話を通して課題にせまる指導のあり方～ (1年次)

②研究内容

- ・課題解決に向け、対話を通して深い学びに迫る授業づくり
（ICT活用、対話の広小スタイルの構築）
- ・特別支援教育に視点を置いた授業づくり
（ユニバーサルデザイン、合理的配慮、個別支援）

(4) 特色ある教育

○特別支援教育の推進

- ・子どもたち一人一人の個々のニーズを理解するとともに、縦割り班活動等を活用した仲間意識の育成に努める。
- ・理解教育の推進とユニバーサルデザインによる授業作りを行う。
- ・安心してすごせる仲間づくり ・学校・家庭・地域の連携づくり

○ふるさと教育の推進

教科や総合的な学習の時間、クラブ活動等の学習において、地域の文化・自然に積極的にふれることを通して、自分の郷土に関心をもち、地域を支える人々の働きや活動を知り、それらを受け継ぐとともに、新しい生活や文化を創造していこうとする資質や態度を育てる。

○学校図書館の充実

- ・読書習慣の定着を図り、幅広い知識を身につけさせ、豊かな心情を育てる。
- ・学び方指導の充実を図り、望ましい図書館の利用態度や技術を高める。
- ・学校図書館活用教育の充実を図り、情報活用能力を高める。

(5) 学級編制

| 学年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 特別支援 | 計 |
|-----|----|-------|----|-------|-------|-------|------|-----|
| 学級数 | 2 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 2 | 12 |
| 児童数 | 男 | 18(3) | 13 | 12(2) | 22(1) | 20(1) | 23 | 115 |
| | 女 | 14 | 21 | 12(1) | 14 | 15 | 21 | 98 |
| | 計 | 32(3) | 34 | 24(3) | 36(1) | 35(1) | 44 | 213 |

安来市立比田小学校

1 学校教育目標

「比田を愛し、自ら学び、心豊かでたくましく生きる子どもを育てる」

【めざす子ども像】

- ・ 自ら学び、考え表現しようとする子 「かしこく」
- ・ 認め合い、協力して行動しようとする子 「なかよく」
- ・ 進んで健康・安全な生活をしようとする子 「たくましく」

【めざす学校像】

- ・ 地域と連携・協働する学校
- ・ 全教職員で組織的に動く学校
- ・ well-being(よりよい働き方)をめざす学校

【めざす教職員像】

- ・ 確かな人権感覚をもつ教職員
- ・ 子どもの可能性をのばす教職員
- ・ 優しさと厳しさをもつ教職員

《子どもと教職員の合言葉》

『チャレンジ』

やる気・勇気をもって 粘り強く チャレンジしよう

2 学校経営の重点

(1) 学習指導の充実

- 授業力の向上：複式教育の研究と実践 基礎学力の定着 思考力、表現力の育成
I C T機器の活用 言語能力の育成
- 家庭学習の充実：自主学習の習慣化 「家庭学習の手引き」の活用
- ふるさと教育の充実：地域に学ぶ教育の推進 え～ひだk i d sの活動の充実
- キャリア教育の充実：学級活動2内容(3)の実践 キャリア・パスポートの活用
- 学校図書館の活用と読書活動の推進：図書館活用教育の推進 読書活動の充実

(2) 特別支援教育の充実

- 個に応じた指導と支援
- 自己理解と個性の伸長
- 個々の特性を認め合う理解教育の推進
- 通級指導教室との連携
- 校内支援委員会による支援の共通理解と実践

(3) 人権教育の推進

- 自己肯定感、自己有用感の高揚
- 互いを大切にしたい集団づくりの推進

(4) 道徳教育の充実

- 道徳教育推進教員を中心とした指導と評価についての研修の実施
- 「考え、議論する」授業の充実

(5) 生徒指導の充実

- 児童理解から始まる生徒指導
- 教育相談の充実
- いつでもどこでもできるあいさつの定着

(6) 基本的な生活習慣の確立と心身の健康の保持、安全教育の推進

- 「早寝」「早起」「朝ごはん」の定着
- 電子メディアとの適切な関わり方の指導
- 朝マラソンやなわとびをとおしての体力づくりの充実
- 体育科の授業での運動量の確保と休憩時間の外や体育館での遊びの励行
- チャレンジ精神・我慢強さの育成：あきらめない気持ちと努力することを大切にするための支援
- 防災教育の充実：小さな拠点づくり事業との連携

(7) 保護者や地域との連携・協働を大切にした学校づくりの推進

- 学校からの積極的な情報発信
- 保護者や地域の願いや声を大切にした連携

3 研究計画

《研究主題》 自分の思いや考えをもち他者の思いを受けとめ、自分の考えを深めようとする子どもの育成 ～特別の教科 道徳の実践を通して～

《研究の目標》

学習活動を通して、子どもが自分の思いや考えをもち、ともに考えを深め合うことができる道徳の時間の在り方を探る。

《研究の内容》

- 子どもの実態を踏まえた内容項目の重点化と年間指導計画の見直し
- 子どもが問題意識をもって考えることができる教材・資料の選定と授業の展開の工夫
- 評価の場面や方法の工夫

4 特色ある教育

ふるさと教育の充実

比田の「ひと・もの・こと」を生かした探究的な学習を推進し、ふるさとへの愛着や誇りをもち、地域に貢献しようとする子どもを育成する。

5 学級編制

| 学 年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 特支 | 計 |
|-------------|----|-------|----|-------|----|----|----|-----|
| 学級数 | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | 4 |
| 児 童 数 | 男 | 1 (1) | 2 | 1 (1) | 1 | 4 | 2 | 1 3 |
| | 女 | 1 | 3 | 1 | 3 | 1 | 3 | 0 2 |
| | 計 | 2 | 5 | 2 | 4 | 5 | 5 | 2 5 |

安来市立山佐小学校

1 学校教育目標

元気あふれる子どもの育成

【めざす学校像】

楽しい学校・元気な学校

【めざす児童像】

や やわらかい頭・・・進んで学ぶ子

ま まけない体・・・元気でやり抜く子

さ さわやかな心・・・優しく助け合う子

【めざす教職員像】

教育愛を基盤にして児童の生きる力を引き出す教職員

2 学校経営の重点

◇ 進んで学ぶ子 (や やわらかい頭・・・進んで学ぶ子) 伝える力

① 教育環境（授業）の充実

- ・複式の良さを生かした学習を工夫する。
- ・話す機会や場を工夫し、自分の思いや考えを進んで伝える力をみがく。

② 基礎基本の確実な定着

- ・基礎学力の定着を図る。
- ・ガイド学習の手法等を活用しながら、課題意識をもって自ら学ぶ、主体的学習態度の育成。

③ 学校図書館活用教育の充実

- ・学校図書館の学習支援センター機能の充実を図る。

◇ 元気でやり抜く子 (ま まけない体・・・元気でやり抜く子) あきらめず挑戦する力

① 基礎体力の増進

- ・体育の授業や体力づくりを工夫し、基礎体力の増進を図る。

② 健康教育の推進

- ・生活リズムの定着、自己管理能力の育成に努める（家庭との連携）。

③ 安全教育・防災教育の推進

- ・安全管理を徹底し、安全教育（災害安全・生活安全・交通安全）を実践する。

◇ 優しく助け合う子 (さ さわやかな心・・・優しく助け合う子) 助け合う力

① 子ども理解の視点に立った生徒指導の推進

- ・日常の児童観察・教育相談・「子どもを語る会」を通して実態をつかみ、児童を支える。
- ・児童が自ら考え行動してみることで、やり遂げ、達成感を味わうことのできる活動を推進する。

② 特別支援教育の視点を生かした人間関係作りの推進

- ・お互いの良さを認め合い、伝えあえる集団づくり。
- ・1人1人の多様なニーズに柔軟に対応できる支援体制を整える。

③ 読書の推進（読書センター機能の充実）

- ・朝読書や読み聞かせ等を工夫し、本に親しむ習慣をつくる。

- ◆ 自分の将来をたくましく切り拓き、様々な人権課題の解決のために主体的に行動できる子
- ◆ 保護者・地域との連携
- ◆ 教育愛を基盤にして児童の生きる力を引き出す教職員

3 研究計画 【3カ年計画の1年次】

(1) 研究主題 「主体的に考え、心豊かに学び合う子どもの育成」

～自己を見つめ、他者とつながって考えを深め合う道徳の授業づくり～

(2) 研究内容

- 豊かな言葉の力をつける工夫
- 多様な考えにふれる、場の設定や対話の視点の工夫
- 協働的な（考え議論する）場のもち方の工夫

4 特色ある教育（ふるさと教育の取組）

(1) ふるさと教育の目標

山佐小学校区（上山佐地区・奥田原地区）の「ひと、もの、こと」にふれる活動を通して、ふるさとのよさを見つけ、ふるさとを大切にしようとする態度を育てる。

(2) めざす子ども像

- 社会や自然に積極的に関わろうとする子ども
- 課題を見つけ、より良く解決していこうとする子ども
- 自分に自信をもち、自分を豊かに表現しようとする子ども

5 学級編制（学級数、児童数）

| 学年 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 特支 | 計 |
|-----|---|---|---|---|------|---|----|---|
| 学級数 | 1 | | 0 | 1 | 1 | | 1 | 4 |
| 児童数 | 男 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 女 | 0 | 1 | 0 | 4(1) | 1 | 1 | 8 |
| | 計 | 1 | 1 | 0 | 4(1) | 1 | 1 | 9 |

安来市立布部小学校

1 学校教育目標

豊かな心を持ち,すこやかで,たくましく生きる子どもの育成

- (1) めざす学校像
笑顔があふれ,笑い声がこだまする学校
- (2) めざす子ども像と具体的姿
 - ・ 考え行動する子ども (知)
 - ・ 励まし助け合う子ども (徳)
 - ・ 強く,やりぬく子ども (体)
- (3) めざす教師像
 - ・ 子どもに愛情を注ぐ教職員
 - ・ 学び続ける教職員
 - ・ 支えあい,認め合い,協働する教職員
 - ・ 地域とともに歩む教職員

2 学校経営の重点

- (1) 全ての教育活動の基底に人権・同和教育を据え,一人一人を大切にし,進路保障を推進する学校づくりを行う。
- (2) 児童一人一人が持てる力を十分に発揮できるように,児童の健康及び安心安全な教育環境を整え,危機管理体制の維持・向上を図る。
- (3) 家庭や地域との連携を密にし,地域ぐるみの教育を推進する。
- (4) 児童理解に努め,信頼関係を基底に据えた学習指導,生徒指導を行う。
- (5) 児童の学習意欲を高め,一人一人の確かな学力の定着と学び方の習得をめざした授業改善に努める。
- (6) 教職員一人一人が主体的に学校経営に参画し,協働と調和を大切にした組織の確立と研修の充実により,創意ある教育活動の展開に努める。

3 研究計画

- (1) 研究主題
自分の考えを持ち,主体的に学び,表現する子どもの育成

(2) 研究の目的

一人一人の児童が主体的に学び、思いを素直に出しながら、自分も他の人も大切に、様々な場面で人権を尊重した態度や行動の育成を図る。自分の意見を持ち、友達の意見を聞いて考えを深めていけるような指導のあり方について考えていく。

4 特色ある教育（ふるさと教育の取組）

(1) 地域の特色

学校は、飯梨川支流の布部川・西谷川に沿った山間地にある。布部地区に生息するハッチョウトンボ、西谷地区に生息するオオサンショウウオに象徴されるように四囲は清涼な自然環境にある。布部地区は、昔の宿場町の面影を残し、尼子・毛利の古戦場跡、野だたら跡なども残り、椿の里とも呼ばれている。

また、著名な文化人・偉人（西田明史・加納辰夫・井上尠・山中鹿之助・橋本源一等）を輩出している地でもある。

(2) 学校の特色

平成16年度に、旧西谷小学校と旧布部小学校とが統合し「布部小学校」としてスタートした。現在はそれぞれの学校で行われてきた活動のよさを生かした教育活動を展開している。全校縦割り班での活動、地域の文化・伝統を教材化、地域へ出かける・地域の方を講師として招くなどの人との交流等である。これらの活動を通して、社会性や郷土愛を育てている。代表的な活動としては、本年度で35年目を迎える全校活動で行う「椿油作り」がある。

(3) ふるさと教育について

ふるさとの自然や文化、伝統、芸能、先人の苦労や偉業から学び、ふるさとへの誇りと愛着をもつとともに、ふるさとの人々との交流を通して、地域社会の一員としての所属感・連帯感を育む。

5 学級編制（学級数、児童数）

| 学 年 | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 特支 | 計 |
|-------------|-----|-----|-----|-------|-------|-----|----|----|
| 学級数 | | 1 | 1 | | 1 | | 1 | 4 |
| 児 童 数 | 男 | 2 | 2 | 1 (1) | 1 (1) | 2 | 2 | 10 |
| | 女 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 4 |
| | 計 | 4 | 3 | 1 (1) | 1 (1) | 3 | 2 | 14 |

安来市立安田小学校

【1】学校教育目標

① やさしく ② すこやかに ③ だれもがまなびあう安田小学校
やさしく助け合う子…相手の気持ちを想像し思いやり、
仲間を大切にする（やさしく）
明るく元気な子…よく遊び、強い心と健康な体をもつ
たくましい子（すこやか）
よく学び考える子…進んで学び、正しく判断する子※
すすんでとりくむ子…自分の意思で主体的に行動する子※
（※まなびあう）

【2】学校経営の重点

1 学ぶ意欲と確かな学力を培う教育（知）

- (1) 学びの大切さや楽しさを感じる授業づくりの推進（めあて、ふりかえり、学び合い、課題追求、ICTの活用）
- (2) 学習の基礎・基本の定着（スキルの習得、知識の定着）
- (3) 学校図書館活用教育の充実（読書活動の推進、情報スキルの習得、学校司書の活用）
- (4) 学習習慣の定着（家庭学習・自主学習）

2 豊かな心と人権尊重の精神の育成（徳）

- (1) 児童の心に寄り添う生徒指導の推進（自尊感情の育成、いじめ防止、教育相談、SCの活用）
- (2) 他者を知り、違いを受け入れ、自他を大切にする人権・同和教育の推進
- (3) 道徳科の時間を中心とした道徳的実践力の育成（考える道徳）
- (4) 支持的風土に満ちた集団づくりの推進（学級集団、委員会・縦割り班）

3 健やかな体の育成（体）

- (1) 遊びの勧め（校庭や体育館で、楽しく遊び運動する環境の整備）
- (2) 保健指導の充実（健康診断の分析に基づく指導）
- (3) 体育科の指導（継続した体育的活動の充実、運動量の確保、技能の習得）
- (4) 基本的な生活習慣の確立（メディアとの接触・食事・十分な休養と睡眠）

4 個に応じた特別支援教育の推進

- (1) 一人一人の児童の実態把握に基づく支援計画・指導計画の作成と活用
- (2) 特別支援教育 Co を核とした支援体制の充実、関係機関との連携の推進
- (3) 特別な支援の必要な児童を中心に置いた学級経営と、にこサポ・支援員の活用

- (4) 特別支援学級における指導の充実と，学校全体・保護者・地域への理解の推進
- 5 ふるさと教育の推進
 - (1) 地域の自然・歴史・文化・産業などを取り入れた学習の推進
 - (2) 地域の人から生き方を学ぶ学習の推進
 - (3) キャリア教育の視点を取り入れた活動の充実
- 6 開かれた学校づくりの推進
 - (1) 情報の共有化と発信の推進
 - (2) 地域の状況・ニーズ等，情報収集の推進
 - (3) 園・小・中学校の連携（Eネットはくた）の推進

【3】研究計画

- 1 研究主題

教科のねらいに迫る ICT の特性を生かした授業づくり
「もっと知りたい，伝えたい」～主体性を高める
学習過程の工夫～
- 2 研究の概要
 - ICT 機器等の活用意図の明確化とコンテンツの精選
 - 活用場面，方法の工夫
 - 評価の方法，記録の工夫

【4】特色ある教育

- 1 全教育活動を通じて，人とよりよく関わる力を培い，お互いに認め合う温かい集団づくりを推進する。
- 2 地域のよさや課題を取り入れた教育を推進することにより，自ら課題に向かって追求する力を育てる。
- 3 学校・PTA・地域一体となった安全教育を推進する。

【5】学級編制

| 学年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 特支 | 計 | |
|-----|----|------|-------|----|----|-------|----|---|----|
| 学級数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 8 | |
| 児童数 | 男子 | 7(1) | 8(1) | 7 | 2 | 10(2) | 9 | 4 | 47 |
| | 女子 | 2 | 7 | 6 | 4 | 6 | 7 | 0 | 32 |
| | 計 | 9(1) | 15(1) | 13 | 6 | 16(2) | 16 | 4 | 79 |

() は特別支援学級児童外数

安来市立母里小学校

1 学校教育目標

「豊かな心をもち、健康で力強く挑戦していく子ども」の育成

《めざす子ども像》

- 本 気（徳）…真心を尽くし、人を大切にする子
- やる気（知）…目標に向かって、自ら学び、考え表現する子
- 元 気（体）…進んで体をきたえ、守り、がんばりぬく子

2 学校経営の重点

(1) 豊かな心の育成

- ① みんなが楽しく学べる学校環境づくり【居場所づくりと絆づくり】
 - ・自尊感情・自己有用感を高める授業づくりや学校生活
- ② 道徳教育、人権教育の推進【豊かな人間性を基盤とした教育活動の推進】
 - ・生命尊重・人権尊重の態度の育成、自尊感情（自信・達成感・自己肯定感）の醸成
- ③ 「ふるまい向上」の推進【よりよい習慣を学校風土へ】
 - ・心のこもったマナー（礼儀）・モラル（良識・社会性）・ルール（規範意識）の醸成

(2) 確かな学力の育成

- ① 「学力向上」の推進【基礎基本と思考力両面の学力向上】
 - ・基礎・基本の定着を図るためのシステムの確立（タブレットの利用）
 - ・学習規律の徹底と学び合い高め合う学習集団づくり…ペア学習・グループ学習の推進
- ② 「コミュニケーション能力」の育成【主体的・対話的で深い学び】
 - ・課題発見、自己（集団）思考・自己（集団）決定、表現する課題解決学習の推進
 - ・対話・話し合いによって考えを深める言語活動の充実
- ③ 「キャリア教育」の推進【キャリアパスポートの活用】
 - ・将来の社会的自立の基礎づくり
- ④ 「ICT活用教育・学校図書館教育」の推進
 - ・ICT機器を活用した教育による、主体的に課題解決に向かう意欲の育成
 - ・学校図書館活用教育による読解力・情報活用能力及び読書に親しむ習慣の育成

(3) 健やかな体の育成

- ① 「体づくり」の推進【学習に向かうことができる体づくり】
 - ・困り感の洗い出しなど【実態把握】
 - ・適切な運動経験と運動量を確保した体育の授業の充実【授業を通しての体づくり】
 - ・体を動かす集団遊びと全校での体づくりの推進【生活の中での体づくり】
 - ・体力・運動能力調査の分析等による年間を見通した全校体制での体力・運動能力の向上
- ② 望ましい生活習慣の確立・健康づくり【家庭との共通理解と連携】
 - ・規則正しい生活リズム（早寝・早起き・朝ごはん）の確立
 - ・ネット社会におけるメディアとの望ましい付き合い方を決定する力の育成
- ③ 自他の生命・身体を自ら守る力の育成
 - ・交通安全・防犯・不審者対応・ネット等今日的課題の安全教育の推進
 - ・性教育・食育・感染症等、現代的課題についての指導の推進

(4) 教育に携わる自覚をもった教職員

- ① 自ら資質向上に努める教職員

- ・ 全校共通の一貫した取組の上に立つ教員個々の自発的な創意工夫による指導の充実
- ・ 全教員の組織的な研究による授業の充実と指導力の向上

②積極的な学校運営参画に努める教職員

- ・ 教育公務員としての服務規律・使命感と人権意識・向上心の高揚
- ・ 全教職員の共通理解とチームとしての協働体制の確立

(5) 地域の一員としてともに歩む学校づくり

①ふるさと教育の推進

- ・ 地域の教育資源（ひと・もの・こと）から学ぶ体験活動（本物体験・感動体験）の充実
- ・ ふるさとへの愛着と誇り、地域に貢献できる力の育成、学校と地域の互惠関係の構築

②社会に開かれた学校づくり

- ・ 各種便り・HP・授業公開・行事公開等による積極的な情報発信と学校のPR
- ・ PTA・外部人材の学校教育への参画の促進（学習・本物体験活動・学校行事等）

③信頼される学校づくり

- ・ 積極的な情報連携と組織的な早期発見・早期対応による危機管理
- ・ 家庭・地域と協働した安全・安心な学校づくり

3 研究計画

(1) 研究主題

「自ら考え、伝え合い、高め合う子どもの育成」
 ～これからの時代を生きる力を育む ICT 活用教育～

(2) 研究内容

○学び合い高め合うことのできる授業づくり【教師の活用】

- ①課題設定のための活用 ②学習を共有し、対話的な学びにするための活用
- ③理解を高めるための視覚支援活用 ④学びを深める、まとめるための活用

○情報活用能力を育てるための ICT 活用教育の基盤づくり【児童の活用】

- ①情報収集のための活用（NHK for school など）
- ②記録・整理のための活用（ジャムボード コラボノート EX など）
- ③まとめ表現するための活用（ドキュメント スプレッドシートなど）
- ④振り返るための活用（フォームなど）
- ⑤対話的な学びにするための活用（クラスルームなど）

○学びを支える環境づくり

- ①ICT 教育環境の整備・充実 ②教職員研修

4 特色ある教育

○学校・家庭・地域が互いに協働・貢献し合うことで互惠関係を構築し、「チーム母里」として地域全体で母里の子どもたちを育てる風土を創る。

《ふるさと教育の取組例》

5 学級編制

| 学 年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 特支 (知) | 特支 (自・情) | 計 | |
|-------------|----|-------|-------|----|----|----|-----------|-------------|---|----|
| 学級数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 8 | |
| 児 童 数 | 男 | 5 (1) | 4 (2) | 5 | 8 | 2 | 6 (2) | 4 | 2 | 36 |
| | 女 | 3 | 3 | 5 | 6 | 9 | 5 | 0 | 0 | 31 |
| | 計 | 8 | 7 | 10 | 14 | 11 | 11 | 4 | 2 | 67 |

安来市立井尻小学校

1. 学校教育目標 夢をもち 心も体も 豊かに生きる児童の育成

【めざす学校像】

- ・笑顔あふれる学校
- ・ぬくもりのある学校
- ・落ち着きとけじめのある学校
- ・地域に開かれた学校

【めざす子ども像】

- 《**い**っぱい笑顔、**じ**つくり学ぶ、**リ**ズムある暮らし》
- ・進んで学び、表現する子ども…創造力・思考力・表現力・コミュニケーション力
 - ・互いに分かり合える明るい子ども…豊かな心・広い心・優しい心
 - ・元気いっぱい行動する子ども…実践力・意志力・体力

【めざす職員像】

- ◎子どもによりそい、子どもの変化を敏感にキャッチできる職員
- ◎自分の持ち味を生かして、自らの職務に粘り強く取り組む職員
- ◎児童や保護者・地域の方から信頼され、地域に自ら関わっていかうとする職員
- ◎温かさと厳しさをもち、常に児童の成長と向上を願う職員

2. 経営の重点

(1) 基礎学力の定着と授業改善・学習指導の充実を図る

＜**じ**つくり学ぶ：学力向上＞

- (ア) 基礎学力の定着を図る取り組みを充実させる。
- (イ) 学ぶ楽しさや追究する楽しさを感じる「わかる授業・魅力ある授業」への改善を図る。
- (ウ) 子ども一人一人の実態に応じた指導や支援など、個に応じた指導の充実を図る。
- (エ) 調べる・考える・判断する・表現する力を育てるための学校図書館活用教育の充実を図る。

(2) 豊かな心を育てる教育を推進し、人権・同和教育を基底に据えた集団づくりに取り組む。

＜**い**っぱい笑顔：社会力・人間力＞

- (ア) 互いの良さを認め合い、伝え合うことのできる集団づくりに取り組む。
- (イ) 受容的・共感的な児童理解と自己肯定感や自尊感情を育てる積極的な生徒指導を推進する。
- (ウ) 社会生活を営む基本となるルールの順守や規範意識の醸成を図る。
- (エ) 体験学習やふるさと教育等を通して、人や自然を大切にする心を育てる。

(3) 学校健康で安全な生活ができる力を育てる教育を推進する

＜**リ**ズムある暮らし：健康・安全＞

- (ア) 基本的な生活習慣の確立をめざす。
- (イ) 「体力づくり」と「食育」の充実を図る。
- (ウ) 感染症にかからないための保健安全指導の充実を図る。
- (エ) 交通安全指導の徹底を図る。

(4) 学校・家庭・地域の連携を図り、地域に根ざした学校づくり

＜地域連携＞

- (ア) 信頼関係醸成のための積極的な情報発信（「学校だより」「学級だより」「ホームページ」）に努める。
- (イ) 地域と密接につながり、地域の教育力を活用したふるさと教育の充実を図る。

3. 研究計画

(1) 研究主題

「課題意識をもち、自分の考えや思いを伝え合い高め合う子どもの育成」
～ICTの活用で児童の対話を生み、一人一人が学びをより深める授業づくり～

(2) 研究内容

- 授業や活動のねらいを達成するためにICTを活用する場面と、活用により期待できる効果を明確にした授業づくり
- 子ども同士の対話を活性化させ、一人一人の学びがより深まる授業づくり
- ICTとアナログ(板書、ノート、実体験)の特性を生かし、子どもの実態に応じた活用方法を考慮した授業づくり

4. 特色ある教育

(1) 小規模校のメリットを活かした学校教育活動を展開する。

- 豊かな教育資源を最大限に活かし、あたたかい地域の人との交流や、比婆山や伯太川をフィールドにした地域の文化や歴史・自然とふれあう学習活動を積極的に取り入れる。
 - ・地域の方と共に活動する米作り、野菜作り等の体験的な学習
 - ・保護者や地域講師に学ぶクラブ活動
 - ・高齢者とのスポーツ交流やミニデイサービスの福祉交流授業
 - ・地区の農業文化祭と共に行う「井尻っ子祭り」(学習発表会)

(2) 全校や異年齢集団で活動する機会を多く設け、一人一人が活躍できる場を設定する。

- ・全校縦割り班(ひば班)による遊びや掃除、給食、集会活動
- ・全校体制で取組むふるまい向上(規範意識・社会性の基礎の醸成)

5. 学力向上の取組

(1) 授業改善

- めざす子どもの姿を明確にし、授業の「めあて」「ふりかえり」の継続と充実を図る。
- 複式学年別授業(ガイド学習)の中で個人思考、集団思考の双方を取入れ、「伝え合う」場の時間を確保しながら主体的・協働的学習を進める。
- デジタル教材や大型提示装置などのICT機器の積極的な活用を図る。

(2) 基礎的・基本的な知識や技能の習得、家庭学習促進への取組

- ◇計算会や朝読書、めざましスキル、チャレンジタイムなど、学力定着のための取組を継続的に進める。
- ◇家庭学習充実のための「家庭学習の手引き」や「くらしのガイドブック」を作成し、保護者に配布する。

6. 学級編制 ※児童数()は特別支援学級で外数

| 学 年 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 特支 | 計 | |
|-------------|---|---|---|---|------|---|----|---|----|
| 学級数 | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | 4 | |
| 児 童 数 | 男 | 0 | 2 | 0 | 1(1) | 1 | 2 | 1 | 7 |
| | 女 | 3 | 1 | 1 | 2 | 2 | 3 | 0 | 12 |
| | 計 | 3 | 3 | 1 | 3(1) | 3 | 5 | 1 | 19 |

安来市立赤屋小学校

1 学校教育目標

豊かな心をもち 健康でたくましく生きる子どもの育成

くめざす子ども像>

あかるく たくましい子 (たくましい体)

かんがえ つくりだす子 (確かな学力)

やさしく 思いやりのある子 (豊かな心)

2 学校経営の重点

(1) 人権を尊重しあう学校風土の構築

○環境を整え、隠れたカリキュラムを意識した学校・学級経営を推進し、児童・教職員一人一人の自己肯定感、自己有用感を高める取組を進める。

○特別支援教育の充実を図るため、児童理解に基づく一人一人の困り感に応じた指導・支援を推進する。

(2) 確かな学力の育成

○主体的に学ぶ意欲や態度を育成するために、少人数を生かした個別最適の学びを創造し、確かな学力を育成する。

○校内研究の充実を図り授業改善に取り組む。言語能力の育成、ICT教育の推進、思考力・表現力・判断力等を育成する。

○家庭学習の習慣化(学習習慣や読書習慣の確立)に向けての家庭学習課題を工夫する。

(3) 学校図書館活用教育の推進

○学校図書館活用能力・情報機器活用能力を育成し、「調べ、まとめて、発表する」情報収集・活用能力や発信力を伸ばす。

(4) 赤屋学(ふるさと教育)の充実

○ふるさと教育を充実させるため、赤屋の地域ビジョンと連動した各教科・総合的な学習の時間などのカリキュラムを「環境」、「産業」、「歴史」、「交流」の4つの視点で整理することで、「赤屋」を自慢できる子どもを育てる。

○児童が考案した「赤屋ゆるキャラ」を地域に発信し、地域とともに活用方法を模索し、児童の願いを実現する。

(5) 健やかな体と強い心の育成

○運動に親しむ意欲や習慣を育成するために、教科体育の充実を図り全校体力づくりを工夫する。

○健康的な生活をする意欲を育成するために、PTAや校区のこ小中連携による「早寝、早起き、朝ごはん」の実践、メディアコントロールの習慣化を目指す。

3 研究計画

(1) 研究主題

自らの学びを広め、深め、進んで表現する子どもの育成

～ICTの活用と「きめる」学びのある授業づくりを通して～

(2) 研究のねらい

学習の基盤となる言語能力の育成を育成するために、国語科を中心に授業の中に「きめる」学びを設定したり、ICTを活用したりすることは有効であるか検証する。

4 特色ある教育

(1) 校内研究体制の充実と言語能力の育成の実践

全職員で研修を深め、主体的、対話的で、深い学びができるようさらなる授業改善をする。

(2) 子どもと共に課題に取り組むプロジェクトチームの結成

早寝・早起きをして メディア時間を減らそう <運営委員会>

家でも学校でも本と関わり、AIに負けないかしこい赤屋っ子 <情報委員会>

100%あいさつをどこでもだれにでも

花さき山の花をもっと多く咲かせよう！ <健康委員会>

(3) 地域のビジョンと連動させた「環境」「産業」「歴史」「交流」の4つの視点から整理した赤屋学（ふるさと教育）の実践と、「赤屋ゆるキャラ」を生かした保護者・地域との連携による「赤屋大好き 赤屋っ子」の育成

- ・地域と学校が同じ思いをもって赤屋大好き赤屋っ子を育てる。
- ・地域の文化や自然に親しんだり、歴史や産業について深く学んだりするとともに、そこに生きてきた人々、また今を生きる人々の素晴らしさを感じるふるさと教育を実践する。

- 学校林を生かした「もりふれクラブ」との森林学習
- 地域の講師を招いて実施するクラブ活動やわかばと交流会
- 小竹川での川遊びや学校林を活用した森林教室などの環境教育
- 高齢者クラブなど地域の方と巡る「ふるさと探訪」
- 赤屋っこ農園での米の栽培や地域の方とのさつまいも栽培

(4) 自己肯定感、自己有用感を育む異年齢交流活動の充実

- 縦割り班や全校での活動（縦割り遊び・遠足・掃除など）
- 認定こども園赤屋との交流（学習発表会・ろここカフェへの参加・避難訓練など）
- 地域の高齢者との交流（ミニデイサービス、ひな祭り会） など

5 学級編制

| 学 年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | はばたき (1年) | わかば (5年) | 計 |
|-------|----|----------|----|----|----|----------|--------------|-------------|-----------|
| 学 級 数 | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | 1 | 5 |
| 児 童 数 | 男 | 1 | 2 | 1 | 2 | 6 | 0 | 0 | 12 |
| | 女 | 2 (1) | 0 | 0 | 2 | 1 (1) | 2 | 1 | 9 (2) |
| | 計 | 3 (1) | 2 | 1 | 4 | 7 (1) | 2 | 1 | 21 (2) |

() は特別支援学級児童外数